

	意見	町からの回答
大津東小	TSMCの関係で便益を受けている人もいるが、東校区では農地が荒れてしまっている。東校区に住む人がいなくなったら、誰がどのように農地を管理していくのか。	農地の集約化や担い手の育成を進め、地域計画に基づきJAや地域と役割分担しながら農地保全に取り組みます。また、移住支援や道路整備等により東小校区の暮らしやすさの確保にも取り組みます。
	東小の建て替えを進めるのか。	東小は老朽化しており、建て替えの必要性も踏まえ、子どもたちにより良い教育環境を整えるため、立地を含めて検討していきます。
	民生委員として活動する中で、乗り合いタクシーを利用する。高齢世帯でも車を運転している人もいるが、将来的には運転をできなくなる。現在は、まちなかだけしか乗り合いタクシーを利用できないため、まちなかを外れた医療機関にも通えるようルートを検討を行ってほしい。安心して医療を受けることのできる環境を整備してほしい。	乗り合いタクシーは重要な移動手段であり、町民ニーズや運行状況を踏まえ、民間事業者と連携しながら今後の運行方法や交通網を検討していきます。
	東小校区には、観光に生かすことのできる歴史的な地域資源があるものの、賑わいが不足していたり、アクセスが困難であったりする。今後の歴史的な地域資源の活用方針を伺いたい。	文化財保全計画を策定し、文化財の保護と活用に取り組んでいきます。
大津南小	陣内交差点の危険性が高い。	陣内交差点については、町から県へ改善を要望しており、現在、県が調査を行っています。引き続き県と連携して対応を進めます。
	南小の老朽化が問題となっている。	南小は、令和12年4月の新校舎完成を目指して調査を進めており、令和10年度中の工事着手を検討しています。
	南小だけの問題ではないものの、教師不足の影響で先生のゆとりがなくなっている。	教員志望者の減少や代替教員の確保が課題となっています。来年度の学級編成に必要な教員数を確保できるよう努めます。
	水難事故の防止の観点から学校での水泳指導が重要であると考えます。学校での水泳指導の実施状況を確認したい。	水泳指導は実施していますが、猛暑や雷雨の影響で十分な授業時間を確保できていません。民間プールの活用も含め、水泳指導の在り方を検討します。
	空港の便数が増えたことにより騒音問題が発生しており、対応をお願いしたい。	航空騒音については関係機関で協議しており、追加の騒音計設置を県と調整しています。県や国への要望に加え、町独自の騒音計設置も検討します。
	朝夕や連休を中心に南小前の県道の渋滞がひどく、道路を横断できないことがあり、特に陣内交差点が渋滞の原因となっている。南小の通学路としての機能を高めるためにも渋滞対策をお願いしたい。	陣内交差点が渋滞要因の一つであると認識しており、県と協議しながら対応します。また、南北道路の整備により県道の渋滞緩和につなげます。
	昨年、戦闘機の離発着があったが、事前通告がなかった。今後は事前通告をお願いしたい。関連してオスプレイの離発着があるか確認したい。県としては、熊本空港の運用時間を拡大したいと考えているようだが、詳細な説明を伺いたい。	自衛隊の共同演習については、必要に応じて関係機関へ住民への配慮を要望します。空港の運用時間については、関係者で構成する協議体で議論していきます。
	高齢者や障がい者も参加しやすくするため、夜間以外でも町民懇談会を開催してほしい。下町にアパートが増加しているものの、明かりがついておらず、住民としては不安に感じているため、現状を説明してほしい。未だウクライナ侵攻は終結しておらず、町でウクライナへの募金を実施すべきではないか。	町民懇談会は、働く世代も参加しやすいよう夜間に開催しています。アパート開発では事業者に住民説明を求めています。ウクライナ侵攻開始時には町でも募金活動を行いました。

■町民懇談会意見一覧

大津小	子どもたちはバスで登校しているが、子どもたちの乗り遅れやバスの遅れも生じており、改善を求めたい。下校時に町営住宅前でバスを待っているが、暑さからの逃げ場がなく熱中症の恐れがあるため、スクールバスの導入を求めたい。	国の運行距離の基準もありますが、学校と連携しながら通学時の熱中症対策に取り組みます。
	見守り活動をする中で、登校中に体調を崩した子どもがいたため、学校に電話したが、営業時間外で電話が繋がらなかった。子どもたちが通学で使用するバスが遅れていたため、バス営業所に電話したが、営業時間外でつながらなかった。	通学中の緊急時の連絡体制について対応を検討します。また、バスの大幅な遅延時に役場内で連携できるようにし、運行会社にも改善を申し入れます。
	TSMCの進出により外国人も含めて新たに大津町に居住する人が増加している。新たに大津町に居住する人が地域に溶け込めるようにするための取組を教えてください。地域の行事や自治会、子ども会での交流のきっかけづくりが重要になるが、多言語での情報提供は検討しているか。町内での好事例や今後予定されている活動を教えてください。	ごみアプリの多言語化ややさしい日本語での周知、日本語教室・生活支援講座などを進めています。企業や自治会とも連携し、外国人住民への生活ルールや地域行事の周知、交流の機会づくりに取り組みます。
	大津北中学校が荒れていると聞くため、対応をお願いしたい。	大津北中で学級崩壊している事実はありません。一部対応が必要な生徒はいますが、地域と連携して対応しており、改善傾向にあると認識しています。
	今後のまちづくりとして藤崎台県営野球場等の大きな施設を誘致することも考えられるが、町の考えを伺いたい。	中間駅を核に商業施設等を誘致し、賑わいの創出を図りたいと考えています。藤崎台県営野球場については、交通渋滞や財政負担の面から、現時点での誘致は困難と考えています。
	役場での会議に参加した際に、要介護認定を受けた場合に、地域の通いの場に参加できなくなるとの話を聞いたが、本人や家族のためになるのか。	要介護認定を受けても、多くの場合は引き続き地域の通いの場に参加できます。参加者の安全確保も踏まえ、要綱の改正や今後の在り方を検討しています。
	看護師が配置されている地域はあるものの、社会福祉協議会から運営に携わってくれている人は、看護師資格を持っていない人が多く、不安を感じていた。	すべての地域への有資格者配置は難しい状況ですが、安心して参加できる環境の整備に向けて検討していきます。
美咲野小	将来のまちの姿は素晴らしいが、住民としての関わり方が分からない。税負担も含めて、今後の住民負担の想定を伺いたい。	総合計画の実現には住民との協働が必要です。現時点で固定資産税や住民税の税率引上げは検討しておらず、財政計画と連動しながら住民負担の抑制に努めます。負担が増える場合は丁寧に説明します。
	交通渋滞が深刻であり、必要以上に通勤に時間要しているが、交通環境の整備は、いつ頃完了する見込みか。	通勤・通学時間帯の渋滞を認識しており、町道・県道の複車線化、信号機の調整、通勤バスの運行などに取り組みます。
	杉水地区に污水配管は整備されるか。	杉水地区の污水配管整備について、議事録では具体的な回答は示されていません。
	町内はプロパンガスだが、今後都市ガスは整備されるか。	都市ガスの整備については、需要を見極めながら関連会社と協議していきます。
	大津町では商業用途の建物が少なく、居住用戸建てを購入して事業で使用する企業が増加しているが、本来は、居住用戸建ての半分しか事業に使用することはできない。今後、さらなる企業の集積に向けて事業で使用可能な建物の整備が必要ではないか。	用途地域等のルールに基づき、企業が事業を継続できる環境を整備します。また、用途地域のすみ分けを進め、住宅地での不安解消に取り組みます。
	美咲野地区では児童数の減少や高齢化が進展しているが、今後の美咲野地区のまちづくりの方向性を伺いたい。	乗り合いタクシーの運行エリア見直しなどにより公共交通の利便性を高めます。子育て世帯の住み替えや商業施設の進出につながる環境づくりを進め、高齢になっても暮らし続けられる地域を目指します。
	三吉原北出口線や美咲野地区の街路樹について、落ち葉によって道路が滑りやすくなる等の問題が生じており、歩行に危険が生じているため、適切な管理を求めたい。調整池周辺はツタが発生しており、適切な管理を求めたい。建築協定に基づいて、所有者に対して空き地や空き家の草刈りを行わせてほしい。	街路樹や調整池は、状況を確認し個別に対応します。空き地・空き家で環境衛生上の問題がある場合は、所有者や管理者に連絡し、適切な管理を求めます。
	総合計画や都市計画マスタープランについて、今後のスケジュールも併せて説明があれば、より分かりやすく、より安心して活動ができると感じた。	総合計画案は町民懇談会の意見を反映して議会に説明し、パブリックコメントを経て、最終的に議会の議決を受けて策定します。
	先般開催された竹あかりは非常に好評だったが、商店街の店舗にも竹あかりを設置することで、商店街での消費喚起につなげることができたのではないか。	竹あかりの商店街での展開については、商業観光課を通じて関係者へ案として伝えます。
	理想のまちを目指すとしても、予算の制約から限度がある。1つだけ優先して取り組むべき施策を挙げてほしい。災害時の避難を想定すれば、体育館のエアコン設置を進めるべきと考える。	中学校2校は来年度中の体育館エアコン設置を目指しており、小学校も来年度から設置工事を進めます。施策全体の優先順位は、総合的に判断しながら進めます。
	本田技研の南側の道路について、国道325号線から西側のJASMへつながるよう道路の延伸が必要ではないか。北熊本スマートICから引水まで道路が整備されることに伴って、周辺道路の拡張等の検討が必要ではないか。	本田技研南側道路の延伸については、周辺自治体や県と協議しながら対応を進めます。
	肥後大津駅からセミコンテックパーク、御代志駅までを通る公共交通機関があれば利用したいと考えるが、現時点での計画を伺いたい。	肥後大津駅から本田技研までの通勤バスや、セミコンテックパーク方面への通勤バスの実証実験を行っています。運行状況を見ながら改善し、継続を検討します。

■町民懇談会意見一覧

室小	肥後大津駅北口にロータリーが完成したが、想定よりも小規模であると感じる。引き続き駅周辺では渋滞が発生しており、十分な効果は得られていないのではないかな。	駅北口ロータリーですべての車を受け入れることは難しいため、警察とも連携しながら対応を進めます。
	大津町役場南側の道路について、夜間に車同士の離合ができないため、道路幅を拡張できないか。肥後大津駅西側の路切付近では、車が歩行者を巻き込みそうになる事例があり、非常に危険であり、改善が必要ではないかな。	役場南側道路は歩行者も利用しやすい道路として整備しています。駅西側路切付近の危険性は課題として認識しており、改善を検討します。
	大津町役場の職員が自身の業務内容を把握しておらず、たらい回しにされることが多々あり、改善が必要ではないかな。	窓口間の情報共有や案内体制に課題があると認識しています。他自治体の事例も参考に、住民サービス向上に向けて窓口業務の改善を進めます。
	肥後大津駅周辺には進入禁止の場所が点々とあるが、実態としては、標識が見えづらく進入禁止を遵守していない車があるため、標識を見やすい位置に設置してほしい。	標識は警察の所管ですが、町が主体となって警察と協議し、改善を進めます。
	将来的にTSMCの事業が順調に進まなかった場合の対応は想定しているか。	現時点ではTSMCの事業が順調に進まなかった場合の対応は十分に想定できていません。既存産業を大切にしながら産業の多様性を確保し、リスクの軽減を図ります。
	大津町の農業では、米、麦、大豆、牛乳、卵、肉類、野菜類が生産されており、海産物を除いて自給を実現できている。一方で農地の減少は振興しており、農振農業地域の維持も考慮しながら取組を進めてほしい。	農振地域の規制を強化し、農地の減少を最小限に抑えています。農業を守りながら、バランスの取れた町の振興を進めます。
	太陽光パネルの廃棄に制限がかかったことにより、今後、部分転売等で所有者が分かりづらくなる可能性があるが、国・県・町としてどのような対策を検討しているか。	太陽光パネルの処分費用については、事業者等との協議会で調査し、条例改正も視野に必要な対応を検討します。
	災害時の共助に向けて、地域のコミュニティ活動が重要となるが、今後、どのような活動支援を検討しているか。	地域コミュニティ活動への補助、地域リーダーの育成、地区担当職員の配置、自治会加入促進などに取り組んでいます。転勤者や外国人住民への情報発信も行います。
	文化財担当（学芸員）の職員の町の文化財に対する知識が不足しており、適切な施策立案ができないのではないかな。	文化財担当職員は、現在、大津町の歴史や文化財に関する知識の習得に努めています。若い世代の育成や新規採用職員への歴史研修にも取り組みます。
大津北小	通学路の道路整備の見通しを伺いたい。昔から道路幅は変わらず、車の離合も難しい道路を子どもたちが通学しなければならない事例もあり、早急に改善が必要ではないかな。	区長、学校、PTA等からの要望を踏まえて現地確認を行い、必要な道路整備を進めています。主要道路だけでなく、子どもたちが通行する道路の安全確保にも取り組みます。
	現在、北小の児童数は43名で減少傾向となっており、学校の運営も厳しくなっている。地元の住民も減少し、地域防災や道路の整備も厳しくなることが想定される。20年後に、北小校区はどのようになっていると考えているのか。	北小では必要な教員配置等により教育の質を確保します。北部地域については、工業団地や道路整備、移住定住、地域コミュニティ支援などを進め、人を呼び込める地域づくりに取り組みます。
	矢護川地区では水田補助整備が開始されているが、所有者の同意が取れない場合にはどのように進めるのか。	水田の圃場整備は地域との合意形成が重要です。合意を得られるよう、整備内容を工夫しながら最大限努力します。
	まちづくりにあたっては人と人のつながりが重要である。人が育つためにどのような取組を行うのか。	地域への愛着を育む教育や、地域コミュニティ活動への支援、担い手育成、地区担当職員の配置などに取り組んでいます。地域の意見も伺いながら、人と人のつながりづくりを進めます。
	地域コミュニティ活動を行う際に野外活動等研修センターを利用しているが、施設の老朽化によりトイレの水が流れなかったり、手洗いの水が出なかったりする。避難所になっているため改善を求めたい。	現地を確認し、速やかに改修します。
	現在は、区役等のボランティアにより地域が維持されている。今後、外国人を始めとして人口が増加するにあたっては、町から区役等について説明する必要があるのではないかな。外国人は、特定の地域に集住させるのか、町営住宅に入居させるのか等の方針は決まっているか。	転入時に地域のルールを案内しており、外国人住民にも同様に対応しています。ごみアプリや企業を通じた情報提供も行っています。
	人口減少により地域の維持が難しくなる中では、転入者にも自助・共助の意識を持って入ってきてもらう必要があり、そのための取組が必要になるのではないかな。	転入時の説明を充実させるとともに、企業連絡協議会と連携して情報発信を行います。現場の状況も把握しながら、多文化共生の取組を次期計画に位置付けます。
	今後、アンケート以外で若者の意見を聴取する取組は予定されているか。総合計画や都市計画マスタープランについて、子どもや若者向けに分かりやすい情報発信を行う予定はあるか。	各種行事やアンケート、中学生へのヒアリングなどを通じて若者の意見を伺っています。子どもや若者にも分かりやすい概要版など、情報発信の方法を検討します。

■町民懇談会意見一覧

護 川 小	本田技研からつつじ台地区へ接続する道路の道幅が狭く、TSCM第2工場の着工に伴う交通量の影響もあり、子どもたちの通学に危険が生じている。その他にマンション等の開発も急激に進んでいるが、道路や下水道等のインフラの整備の見通しを伺いたい。本田技研の南側道路のセミコンテックパークまでの延伸を検討すべきではないか。	工業団地整備に合わせて周辺道路の整備を検討します。本田技研南側道路の延伸は、県や周辺自治体と協議しながら検討します。下水道は管路や処理能力を踏まえて整備を検討します。
	今後、人口の増加が想定される中でスーパーや飲食店を整備してほしい。	国道325号沿線へのスーパーや飲食店の進出を目指して用途変更を行い、関係者と連携して商業施設等の進出を促します。
	肥後大津駅の利用者や宿泊客のニーズを満たすため、駅前周辺の飲食店の整備が必要である。	商工会や商店街等と協議しながら駅周辺まちづくりを進め、関係者の協力を得ながら商業施設等の進出を促します。
	町長から説明のあったまちづくりにあたって大切にしたい3つの視点は、次期計画に位置付けられ、具体化されるか。それとも町長の基本的な取組姿勢か。	3つの視点は町長の基本的な取組姿勢であり、次期計画の策定でも重視します。町全体の発展、財政計画との連動、町民との協働を具体的な取組につなげていきます。
	3つ目の視点が実現することにより施策は前進すると考えるが、現時点で3つ目の視点は実現されておらず、町長のリーダーシップで行政と町民で共に考える機会を設けてほしい。	町民懇談会や地区担当職員等を活用し、町民と行政が共に考える機会づくりを進めます。
	桜丘地区ではオープンチャットを使用して情報共有を行っているが、行政からの情報が行き届いていない状況もあるため、情報発信の強化に取り組むべきではないか。	広報誌や公式HPに加え、SNSも活用して情報発信を強化しています。必要な情報が町民に届くよう、公式HPの充実を含め改善を進めます。
	大津町で整備予定の工業団地と同規模の西原村の工業団地では、進出企業が内定し、名称も発表されたが、現時点での工業団地の内定状況を伺いたい。	工業団地は令和9年度末の造成に向けて整備を進めています。販売価格が未確定のため、現時点で進出企業の内定はありません。
	杉水水迫線の延伸は、大型車の通行等により通学に危険が生じているため、通学路の確保をお願いしたい。	杉水水迫線は計画どおり進んでおり、令和9年度の開通に向けて工事を進めます。通学路の安全確保にも配慮します。
	昨年度の町民懇談会で要望した通学路の拡幅工事が中断しているが、現状を伺いたい。	昨年度要望のあった通学路の拡幅工事は、工業団地の整備に合わせて進めています。
	猿渡バス停から杉水地区バス道路の補修、護川簡易郵便局前の三叉路の安全対策・ライン引き、杉水バス停・下杉水バス停間のスピード抑制のためのロードハンプの設置を要望したい。	杉水地区の道路は舗装状況を調査し対応を検討します。護川簡易郵便局前の三叉路は県が改良工事を検討しています。速度抑制策についても県と協議を続けます。
	台湾有事が発生した場合、宮古島からの避難の受け入れが決定しているが、町内での避難先は確保できているか。	台湾有事に伴う避難住民については、大津町でも受け入れを行います。町内ホテルに相談し、受け入れ先は確保しています。
	町中心部の開発だけが進んでおり、町北部の生活道路の整備は行われていない。防災上、網羅的な道路整備が必要ではないか。	工業団地の整備に合わせて周辺道路の整備に取り組みます。県道の拡幅や、中間駅整備に伴う南北道路の整備も検討します。
	阿蘇の玄関口である大津町にとって、阿蘇外輪山の山林の景観による影響は大きいと考えるが、山林の保全について次期計画で考慮されるか。	メガソーラーの建設も踏まえ、山林や町有林の保全に取り組み、次期計画での記載を充実させます。
	本日の説明では、次期計画について現状・課題及び理念的な取組の方向性しか記載されていないが、具体的な取組の内容は計画されているか。	今回は基本構想を中心に説明しています。基本計画で施策の方向性を整理し、実施計画で具体的な取組を定めます。
	実施計画の開始時期を伺いたい。	実施計画は来年度から開始します。
	桜丘地区にはセミコンテックパークへの通勤路になっている道路がある。大津町からセミコンテックパークへの通勤にあたっての通行禁止道路が指定されているものの、桜岡地区の道路は含まれていない。各地区の細部にも目を向けてほしい。	通行禁止道路を改めて確認し、必要な改善を検討します。